

令和5年度

# 岡谷市教育要覧



## 岡谷市教育委員会

岡谷市幸町8番1号

TEL (0266) 23-4811番

FAX (0266) 24-2755番

岡谷市ホームページ <http://www.city.okaya.lg.jp>

## 岡谷市民憲章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。  
わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。  
自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。  
心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。  
教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。  
仕事に誇りをもち、豊かな産業のまちをつくります。

(昭和 46 年 7 月 1 日制定)

## 人権尊重都市宣言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。  
今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受けとめ、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成 8 年 3 月 21 日宣言)

## おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、  
明るく元気で健やかな子どもに育てます。  
命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。  
自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。  
行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。  
力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(平成 14 年 4 月 1 日制定)

# 岡谷市のおいたち

## 縄文時代

この地に私達の祖先の縄文人が住むようになったのは、今からおよそ1万年前、縄文時代の最も早い時期にさかのぼります。豊かな湖と山野に囲まれ、東西文化の接点という交流の要衝として、また和田峠の黒曜石の集散地として縄文時代全般にわたって、大きなムラが営まれました。

## 弥生時代

諏訪地方では最も早く稻作農耕の技術が伝わり、大小の沢、湧水地、天竜川縁辺に大きなムラが発達し、たくさんの玉類を身に付けた王者が存在するほど発展します。

## 古墳・奈良・平安朝時代

やがて小地域ごとにクニを治めるような有力な豪族が生まれます。律令体制が整い、国の統治が全国に及ぶ頃になると、信濃国の諏訪郡役所が長地一帯に設けられ、長大な掘立建物をもつ役所を中心にマチが発展しました。また、官牧の岡屋牧が定められ、この頃、信濃の駒の产地の一つとして、朝廷に馬を献上していました。

## 中・近世

鎌倉時代、諏訪の武士はその誉れが高く、重臣として活躍します。南北朝時代には、諏訪上下両社とも南朝方として宗良親王を奉じ、全郡あげて天下に呼号しました。足利幕府が弱体化し、戦国時代となると、それまで統治していた諏訪氏が滅ぼされ武田氏の領国となります。関ヶ原の戦い以後、諏訪氏が旧領に復帰して明治まで高島藩の藩政が行われました。そして江戸時代は、綿打業とその糸を使った小倉織が盛んになり、諏訪の名物となって岡谷も栄えます。

## 明治維新以後

明治4年11月、信濃国は大きく長野・筑摩の2県に分割され、この地は、筑摩県官下となって、郡県政治が行われることになりました。当時現市域は17村に分かれていきました。

明治7年筑摩権令の合併勧奨指導のもとに平野村(7か村)、湊村(2か村)、川岸村(5か村)、長地村(3か村)が誕生し、明治9年には、筑摩県は長野県に統合されました。産業の近代化がすすめられる中で、この地は器械製糸業を積極的に取り入れ、大正から昭和初期には世界の大製糸業地として発展します。

## 市制施行

昭和11年4月、平野村は全国一の大村から一躍、市制を施行しました。これは製糸業の隆盛とともに人口が増加し、また工業都市への転換が図られるなど、まちが飛躍的に発展を遂げたからでした。

## 産業の変遷－製糸業から精密機械工業へ－

明治以前の諏訪地域は、産業構造の約9割を農業が占めていましたが、盆地のため耕地面積が少なく、気候特性から年間を通じて耕作できる期間が短いため、「農閑余業」として綿打ちや小倉織などが盛んに行われていました。また、稻作のできない中山間地では桑を植え、養蚕が行われ、牛首による生糸生産も行われていました。

安政6(1859)年6月に横浜が開港すると、ヨーロッパの生糸需要に呼応して、輸出が始まりました。その割合は万延元(1860)年には、わが国の総輸出品額の66%にも上り、横浜港開港から昭和9(1934)年までの75年間、生糸は輸出総額の第1位を占めていました。

明治に入ると、政府は「殖産興業」政策を打ち出し、新しい技術を海外から取り入れ、近代的産業を興すことになります。こうした中、明治8(1875)年に平野村(現岡谷市)で、イタリア式繰糸法とフランス式繰糸法を折衷した「諏訪式繰糸機」が武居代次郎らによって開発されます。この「諏訪式繰糸機」は、多条繰糸機や自動繰糸機が普及する昭和初期に至るまでの長きにわたって使われ、諏訪地域は日本一の生糸生産量を誇りました。

大正初期頃までの輸出生糸のほとんどは諏訪式繰糸機によって生産され、外貨獲得に大きく貢献し、わが国の近代化の礎を築きました。さらに、その後も岡谷の人間がかかわる中で開発され、実用化された多条繰糸機や自動繰糸機により、生糸の生産量や品質は飛躍的に向上しました。岡谷が「世界一の製糸工業地帯」となった背景には、器械製糸業の積極的な導入に加え、製糸に必要な水が諏訪湖、天竜川をはじめとして豊富にあったこと、繭保存に適する乾燥気候だったこと、原料繭を近隣地域から得やすかったこと、燃料である薪や亜炭などが得られたこと、優れた経営者や技術者がいたこと、繭・生糸商人や金融機関の支えがあったことなどの理由が考えられ、これらのうちどれか一つ欠けても「絲都岡谷」は実現しませんでした。なかでも10~15ミクロンという纖細な繭糸を継ぎ足し、40~50ミクロンという生糸をつくる根気のいる仕事を延々と続けてきた大勢の工女さんなくして岡谷の製糸を語ることはできません。

こうした中、大正3(1914)年に第一次世界大戦が起こると、戦場となったヨーロッパが大打撃を受ける一方、戦場とならなかったアメリカは戦後、いわゆる戦争景気に湧き、絹の需用が大きく伸びました。そのため、生糸の最大供給国であった日本の生糸のほとんどがアメリカに輸出され、わが国も好景気に沸き、当地域の製糸業も全盛期を迎えます。

しかし、昭和4(1929)年に発生した世界恐慌により、アメリカへの生糸輸出が滞り、昭和5(1930)年にはわが国も不景気に転じます。そのため製糸工場の多くが休業・倒産に追い込まれ、養蚕や製糸業は急激に衰退しました。

昭和12(1937)年に第二次世界大戦が勃発すると、戦火を逃れるため都会から航空機や計器メーカーなどの軍需工業が疎開をしてきました。その背景には、製糸業の衰退に伴う遊休工場があり、経営者や労働者がいたことが影響していると言え、こうして岡谷は軍需工業地帯へと変貌しました。

戦後は、この地域に根付き発展した疎開企業をはじめ、元々地域にあった企業や、それらの下請け企業が核となり、機械工業の基礎を形成します。なかでも、ミクロン単位の繭糸を絶え間なく繰り続ける精密加工としての製糸技術の蓄積に加え、きれいな水や空気、乾燥気候など製糸業が必要としたものと同様の条件がこの地に備わっていたことから、精密機械工業が飛躍的に発展します。岡谷は諏訪湖を中心に高い山々に囲まれたまちであり、精密機械で有名なアルプスの国々に例えられ、「東洋のスイス」と呼ばれるようになり、国内でも有数の精密工業都市へと発展しました。

現在では、高度な超精密加工技術を有する企業が立地し、全国屈指の企業集積地として、その技術は様々な分野で高く評価されています。

# 目 次

1. 教 育 行 政	
(1) 第 2 期 教 育 大 綱	1
(2) 岡 谷 市 教 育 の 基 本 目 標	2
① 第 5 次 岡 谷 市 総 合 計 画	2
② お か や 子 育 て 憲 章	4
(3) 市 理 事 者 ・ 市 教 育 委 員 会 ・ 関 係 市 議 会 議 員	6
① 市 理 事 者	6
② 市 教 育 委 員 会	6
③ 関 係 市 議 会 議 員	6
(4) 教 育 委 員 会 機 構	7
(5) 事 務 分 掌	8
(6) 教 育 委 員 会 事 務 局 職 員 数	10
2. 教 育 委 員 会 所 管 予 算	
(1) 令 和 5 年 度 岡 谷 市 一 般 会 計 当 初 予 算	11
(2) 令 和 5 年 度 教 育 委 員 会 費 歳 出 項 目 別 当 初 予 算	12
(3) 教 育 費 の 年 度 別 推 移	13
3. 教 育 総 務 課	
(1) 令 和 5 年 度 学 校 教 育 基 本 方 針	14
(2) 市 内 小 中 学 校 等	15
① 市 立 小 中 学 校	15
② 学 校 教 職 員 数	16
③ 児 童 ・ 生 徒 数 及 び 学 級 数	17
④ 保 育 園 等 ・ 幼 稚 園 ・ 認 定 こ も 園	18
⑤ 30 人 規 模 学 級 (35 人 学 級) 導 入 経 過	20
⑥ 学 校 別 年 度 別 児 童 生 徒 数 及 び 学 級 数 見 込み	20
⑦ 人 口 及 び 児 童 生 徒 数 の 年 比 較	23
⑧ 中 学 校 卒 業 者 の 進 路 状 況	24
⑨ 小 中 学 校 通 学 区 域	25
⑩ グ ラ ン ド デ ザ イ ン	25
⑪ 学 校 給 食 実 施 状 況	37
⑫ 学 校 医 ・ 学 校 歯 科 医 ・ 学 校 薬 剤 師	38
(3) 学 校 施 設	39
① 学 校 建 物 保 有 面 積	39
② 学 校 敷 地 保 有 面 積	39
③ 学 校 建 物 棟 別 保 有 面 積 (主 要 棟)	40

④ 学 校 水 泳 プ ー ル	41
⑤ 小中学校施設等主要整備状況	42
⑥ 小中学校コンピュータ整備状況	43
(4) 専 門 委 員 会 等	44
① 岡 谷 市 就 学 支 援 委 員 会	44
② 岡 谷 市 い じ め 問 題 対 策 連 絡 協 議 会	44
③ 岡 谷 市 い じ め 問 題 対 策 調 査 委 員 会	44
④ 岡 谷 市 子 も 教 育 支 援 チ ム	44
⑤ 岡 谷 市 小 中 学 校 子 も の 自 立 支 援 委 員 会	45
⑥ 岡 谷 市 い じ め 防 止 対 策 推 進 委 員 会	45
⑦ 岡 谷 市 小 中 学 校 生 徒 指 導 推 進 委 員 会	45
⑧ 岡 谷 市 小 中 学 校 情 報 教 育 委 員 会	46
⑨ 岡 谷 市 学 校 図 書 館 教 育 推 進 委 員 会	46
⑩ 岡 谷 市 学 力 向 上 推 進 委 員 会	46
⑪ 岡 谷 市 外 国 語 活 動 推 進 委 員 会	46
⑫ 岡 谷 市 道 徳 教 育 推 進 委 員 会	46
⑬ お か や 絹 結 プ ロ グ ラ ム 推 進 委 員 会	46
(5) 学 校 評 議 員	47
(6) 岡 谷 市 通 学 路 安 全 対 策 会 議	47
(7) 子 も 総 合 相 談 セン ター ・ カ ウ ネ セ リ ン グ 体 制	48
① 子 も 総 合 相 談 セン ター	49
② 分 室	49
③ フ レ ン ド リ ー 教 室 ・ 中 学 校 中 間 教 室	50
④ 心 の 教 室	50
⑤ ス ク ル ソ ー シ ャ ル ワ カ ー	50
⑥ ス ク ル カ ウ ネ セ ラ ー (専 門 カ ウ ネ セ ラ ー)	51
⑦ 就 学 支 援 ・ 特 別 支 援 教 育 ・ 幼 保 小 連 携	51
(8) 岡 谷 ス タ ン ダ ー ド カ リ キ ュ ラ ム	51
(9) 学 童 ク ラ ブ 運 営 事 業	52
(10) 放 課 後 子 も の 居 場 所 づ く り 事 業	54
(11) 岡 谷 子 も 未 来 塾 事 業	54
(12) 高 等 学 校 ・ 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校 等	55
① 高 等 学 校	55
② 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校	55
③ 各 种 学 校	55
(13) 教 員 住 宅	56
(14) 奨 学 金 制 度	57
① 岡 谷 市 育 英 基 金	57
② 公 益 信 託 山 田 徳 郎 奨 学 基 金	58

#### 4. 生涯学習課

(1) 令和5年度生涯学習基本方針	59
(2) 生涯学習推進・公民館	60
① 重　点　目　標	60
② 令和5年度重点施策	60
③ 岡谷市社会教育委員の会議	60
④ おかや子育て憲章理念の普及	61
⑤ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）	61
⑥ 生涯学習人材バンク「おかやマイナビィスタッフ」活用事業	61
⑦ 人　權　教　育	61
⑧ 生涯学習館・公民館の講座等（令和5年度）	62
⑨ 施　　設	64
⑩ 利　用　案　内	65
⑪ 利用状況（令和4年度）	66
(3) 青　少　年	67
① 重　点　目　標	67
② 令和5年度重点施策	67
③ 主　な　事　業	67
(4) 図　書　館	71
① 重　点　目　標	71
② 令和5年度重点施策	71
③ 施　　設	71
④ 利　用　案　内	71
⑤ 蔵　書　冊　数　等	72
⑥ 利用状況（令和4年度）	73
⑦ 令和5年度事業概要	74
(5) 美　術　考　古　館	76
① 重　点　目　標	76
② 令和5年度重点施策	76
③ 施　　設	76
④ 利　用　案　内	76
⑤ 資　　料	77
⑥ 利用状況（令和4年度）	79
⑦ 令和5年度主要事業	80
(6) 文　化　財	81
① 重　点　目　標	81
② 令和5年度重点施策	81
③ 岡谷市文化財保護審議会委員	81
④ 施　　設	81
⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財	82

(7) 市 史 編 さ ん 準 備 室	93
① 目                          的	93
② 内                          容	93
5. スポーツ振興課	
(1) 令和5年度スポーツ振興基本方針	94
(2) ス ポ 一 ツ 施 設	95
① 市 営 岡 谷 球 場	95
② 岡 谷 市 営 庭 球 場	95
③ 岡 谷 市 民 湖 畔 広 場	95
④ 岡 谷 市 民 川 岸 ス ポ 一 ツ 広 場	95
⑤ 岡 谷 市 やまびこ国際スケートセンター	96
⑥ 岡 谷 市 学 校 体 育 施 設	96
⑦ 岡 谷 市 民 総 合 体 育 館	97
⑧ 岡 谷 市 民 水 泳 プ ル	98
⑨ 岡 谷 市 やまびこアリーナ	98
⑩ 岡 谷 市 営 陸 上 競 技 場	98
⑪ 岡 谷 射 撃 場	98
(3) 令和5年度スポーツ事業	99
① 岡 谷 市 ・ 岡 谷 市 教 育 委 員 会 主 催 事 業	99
② 岡 谷 市 ス ポ 一 ツ 協 会 支 援 関 連 事 業	100
③ ス ポ 一 ツ 少 年 団 事 業	101
④ そ の 他 ス ポ 一 ツ 大 会	101
(4) ス ポ 一 ツ 関 係 団 体 等	102
① 岡 谷 市 ス ポ 一 ツ 推 進 委 員	102
② ス ポ 一 ツ 団 体	102
(5) 令和5年度スポーツ教室	102
① ス ポ 一 ツ 教 室	102
② お か や キ ッ ズ 体 育 塾	103
③ ジ ュ ニ ア ア ス リ ト の た め の パ フ ォ ー マ ン ス ア ッ プ 教 室	103
④ お か や フ ア ミ リ ー ス ス ポ 一 ツ プ ロ グ ラ ム	103
⑤ 大 人 の た め の ラ ン ニ ン グ 教 室	103
⑥ ス ケ ー ト 教 室	103
(6) ス ポ 一 ツ 施 設 の 月 別 利 用 状 況 (令 和 4 年 度)	104
① 市 営 岡 谷 球 場	104
② 岡 谷 市 営 庭 球 場	104
③ 岡 谷 市 民 湖 畔 広 場	104
④ 岡 谷 市 民 川 岸 ス ポ 一 ツ 広 場	105
⑤ 岡 谷 市 やまびこ国際スケートセンター	105
⑥ 岡 谷 市 学 校 体 育 施 設	105

⑦ 岡谷市民総合体育馆	106
⑧ 岡谷市民水泳プール	106
※参考：令和4年度 無料利用者数	107

# 1. 教育行政

(1) 第2期 教育大綱（概要版）(2019-2023)  
岡谷市「教育の理念」

平成31年2月制定

岡谷市・岡谷市教育委員会

## 自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

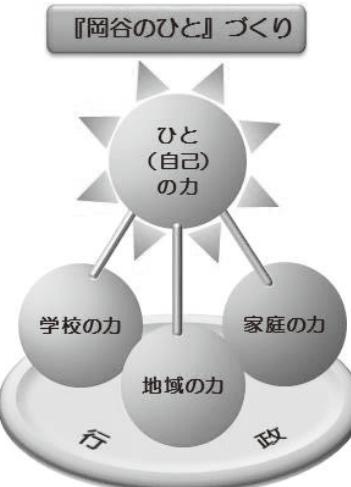
### (めざす教育の姿)

子どもたちには、一人ひとりの人生の礎となる、確かな学びと成長の支えを実現し、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜く力と創造性溢れる、豊かな感性、人間性を育みます。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりを進めるとともに、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

更に、主体的に取り組み、分かり合えるひと（自己）の力を育み、支えることができるよう、

魅力と活力ある学校の力、共生社会を支える地域の力、人づくりの根幹を担う家庭の力の充実を図り、互いに連携しながら、行政との協働により、『岡谷のひとづくり』を推進します。



### (教育の分野別スローガン)

#### 学校教育

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

#### 生涯学習

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

#### スポーツ

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

### 教育の分野別重点項目

#### 学校教育

- 未来を切り拓く確かな学力の定着
- 地域に根ざしたふるさと学習の推進
- 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

#### 生涯学習

- 生涯を通じた学びの推進
- 青少年の健全育成
- 読書の推進
- 家庭・地域の教育力向上

#### スポーツ

- 市民ひとり1スポーツの実現
- 競技力の向上
- 子どものスポーツ機会の充実
- スポーツ環境の整備・充実

### 教育に関する施策展開

第5次岡谷市総合計画（前期基本計画）  
～人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷～

【教育・文化分野】未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

教育分野の計画

#### 第2期岡谷市教育大綱

【教育理念】自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

【学校教育】  
岡谷市魅力と活力ある  
学校づくり推進プラン

相互連携

【生涯学習】  
岡谷市学びの紡ぎ応援プラン  
(第6次岡谷市生涯学習推進計画)  
岡谷市子ども読書活動推進計画

【スポーツ】  
はつらつ岡谷スポーツプラン  
(第2次岡谷市スポーツ推進計画)

（教育振興基本計画）

分野別3計画をもって教育振興基本計画とみなします。

## (2) 岡谷市教育の基本目標

－未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち－

本市は将来都市像を「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」と定め、この実現に向けて6つの都市づくりの柱をかかげております。

この都市づくりの柱の一であり、教育の基本目標となる「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」の推進に努めます。

また、前期基本計画においては、「たくましい産業の創造」、「岡谷ブランドの発信」、「安全・安心の伸展」と並んで子育て支援を重点プロジェクトとして位置付け、市民総参加による「輝く子どもの育成」に向けた取り組みを推進します。

### ① 第5次岡谷市総合計画 (基本構想2019年～2028年)

(前期基本計画2019年～2023年)

#### －学校教育の推進－

##### 1 未来切り拓く確かな学力の定着

急激な社会変化やグローバル社会に向けて、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、複雑化、多様化する社会に対応するための「学びに向かう力」、「知識・技能を活用する力」、「思考力・判断力・表現力」、「コミュニケーション能力」などの育成を図ります。

##### 2 地域に根ざしたふるさと学習の推進

ものづくりに代表される、ふるさと「岡谷」のさまざまな地域資源を活かした、岡谷ならではの普遍的な学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の展開により、岡谷の『ひと・もの・こと・こころ』に誇りと自信を持ち、郷土を愛する心を醸成します。また、「岡谷版コミュニティスクール」の展開により、地域に息づき、根付く魅力と活力ある学校づくりを進めるとともに、将来の夢や希望が描け、郷土を担う子どもの育成に向けたキャリア教育を推進します。

##### 3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

自立と共生につながる豊かな心を育むため、道徳教育などの充実を図り、自他の生命の尊重、自己有用感や自尊感情、他者への思いやり困難を乗り越える力を育みます。また、いじめや不登校や発達障がいなど、さまざまな支援が必要な児童生徒の教育的ニーズに対応するため、子ども総合相談センターの充実を図ります。

あらゆる学びと育ちの基盤となり、生涯豊かに生き抜く力の重要な要素である、健全な心身の発達を促す、運動習慣や生活習慣の定着を図ります。

##### 4 笑顔で安心して学べる教育活動環境の整備

安全で安心して学べる質の高い教育環境の充実を図るため、学校施設の老朽化対策を計画的に推進します。また、子どもたちにとってよりよい学習環境となるよう、学校施設の適正規模・適正配置を検討します。

子どもたちがさまざまな危機を予測し、みずからの安全をみずから守るための能力の育成に努めるとともに、学校安全について、家庭や地域と連携、協働した取り組みを推進します。

## —生涯学習の推進—

### 5 生涯を通じた学びの推進

生涯学習に関する情報の発信により、市民の学習意欲の促進と、市民ニーズに応じた講座や時代の変化に応じた知識、技能を獲得する機会の充実に努めます。

また、生涯学習の指導者の発掘、確保に努めるとともに、学習グループや各種団体の活動を支援します。

### 6 青少年の健全育成

家庭や学校、地域の団体と連携し、青少年が自主的、主体的に地域活動に参加できるようになるために、多様な体験活動や団体活動の機会を提供します。

### 7 読書の推進

子どもから大人まで広く市民が読書に親しみの持てる環境を整えます。特に、子どもたちの読書習慣の定着を図るため、市立岡谷図書館と学校等施設との連携や、ボランティア団体などとの協働により、子どもの発達段階に応じた読書の機会提供と普及啓発に取り組みます。

### 8 家庭・地域の教育力向上

子どもたちが人間性豊かに育つことができるよう、家庭、学校、地域と連携して、保護者を応援するための学習講座の開催や、親同士が交流できる機会を提供し、家庭と地域の教育力向上の支援に努めます。

## —スポーツの振興—

### 9 市民ひとり1スポーツの実現

生涯にわたって運動・スポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

### 10 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、スポーツ指導者の養成を推進します。

### 11 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の活動の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムを充実し、基礎体力の向上を目指します。また、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりとなるように、多様なスポーツ教室を提供します。

### 12 スポーツ環境の整備・充実

市民一人ひとりが安全で快適なスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全・安心な環境を整備します。

## ② おかや子育て憲章

### 〔憲章制定の趣旨〕

わたくしたち岡谷市民は、これまで常に時代を先取りする進取の気性に富んだ人材を育て、まちの発展に寄与してきました。

緑と湖に恵まれた美しい郷土岡谷の未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。

大人が、子育てに夢と希望をもち、子どもを愛し、心の自立を促し、生きる力を育み、子どもたちの育つ環境を整え、協力し合いながら互いに支え合う市民総参加による子育てのまちづくりを推進するため、この憲章を定めます。

### 〔憲章本文〕

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
- 自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
- 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

平成 14 年 4 月 1 日制定

### 〔憲章実践の共通指針〕

子どもの生きる力を育むには、家庭・地域・学校が「子育て憲章」を共通の指針として、それぞれの役割を果たし、機能を發揮し合うことが大切です。家庭・地域・学校の連携した取り組みによってこそ、子どもはより強く、より大きく成長します。

#### 家庭 《子育ての原点は家庭です》

- ・ 子どもは家族みんなで楽しく過ごすことを願い、心をつなぎ合うコミュニケーションを求めていきます。
- ・ 子どもが家庭で身に付けた基本的な生活習慣は、生涯にわたって子どもの心に生き続けます。
- ・ 子育ては家族みんなが参加・協力してバランスが保たれます。子どもが、心身ともに調和のとれた成長を続けるよう支えましょう。
- ・ 家庭を支える親の尽くす姿は、子どもの心に届き、家族みんなでつくる生活の価値に気づかせます。

#### 地域 《地域の子どもは地域で育てます》

- ・ 子どもたちに、地域での自然体験や遊びを経験させ、子どもの豊かな心の育ちを支えましょう。
- ・ 子どもたちに、地域の伝統・文化を伝える体験の場と機会を提供し、地域への愛着心を育てましょう。

- ・ 子どもたちに、異世代・異年齢交流ができる地域活動に参加させ、**地域の人や友だちとかかわる力や、思いやりの心を育てましょう。**
- ・ 子どもは地域の財産です。子ども会活動や地域子育てミニ集会などを通して、**地域一体となっての子育ての実践に努めましょう。**

#### **学校 《基礎・基本の定着を図ります》**

- ・ 学校は、特色ある教育課程の具現を通して、子どもの個性伸長と、調和のある全人的な成長を助け、**人としての自立への育ちを支えましょう。**
- ・ 共に学び合う学習活動を通して、子どもに**基礎的・基本的学力の定着**と、心に響く学びの喜びを得させましょう。
- ・ 共同社会としての学校生活を通して、子どもに**思いやりの心や協調性・社会性などの人間関係づくりの力・規範意識**を育てましょう。
- ・ 総合的な学習の時間を通して、子どもに活動的・協同的・課題解決的な学びの体験をさせ、**生きる力の育ちを支えましょう。**

#### **お父さん、お母さんへ**

- ・ 子育ては、親にとって人生の一大事業です。
- ・ 子どもは、親の愛を実感することで心を安定させ、強くたくましく成長します。
- ・ 子どもの願いに耳を傾け、その願いを支える**親子の会話の機会**をもち続けましょう。
- ・ 親からの正しいしつけが、**子どもへの最大の贈り物**です。社会的ルールや善惡の判断、思いやりの心は、人とのかかわりや遊びの中で身につき育ちます。
- ・ 子どもに、家族の一員としての役割分担をもたせ、実感を伴った生活体験をさせることによって、**人としての自立の心を育てましょう。**

### (3) 市理事者・市教育委員会・関係市議会議員

#### ① 市 理 事 者

(令和5年6月1日現在)

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	備 考
市 長	今 井 竜 五	平 19. 9. 29	令 5. 9. 28	
副 市 長	小 口 道 生	令 2. 4. 1	令 6. 3. 31	
教 育 長	宮 坂 享	令 5. 6. 1	令 7. 3. 31	新教育長就任 令 5. 6. 1

#### ② 市 教 育 委 員 会

(令和5年6月1日現在)

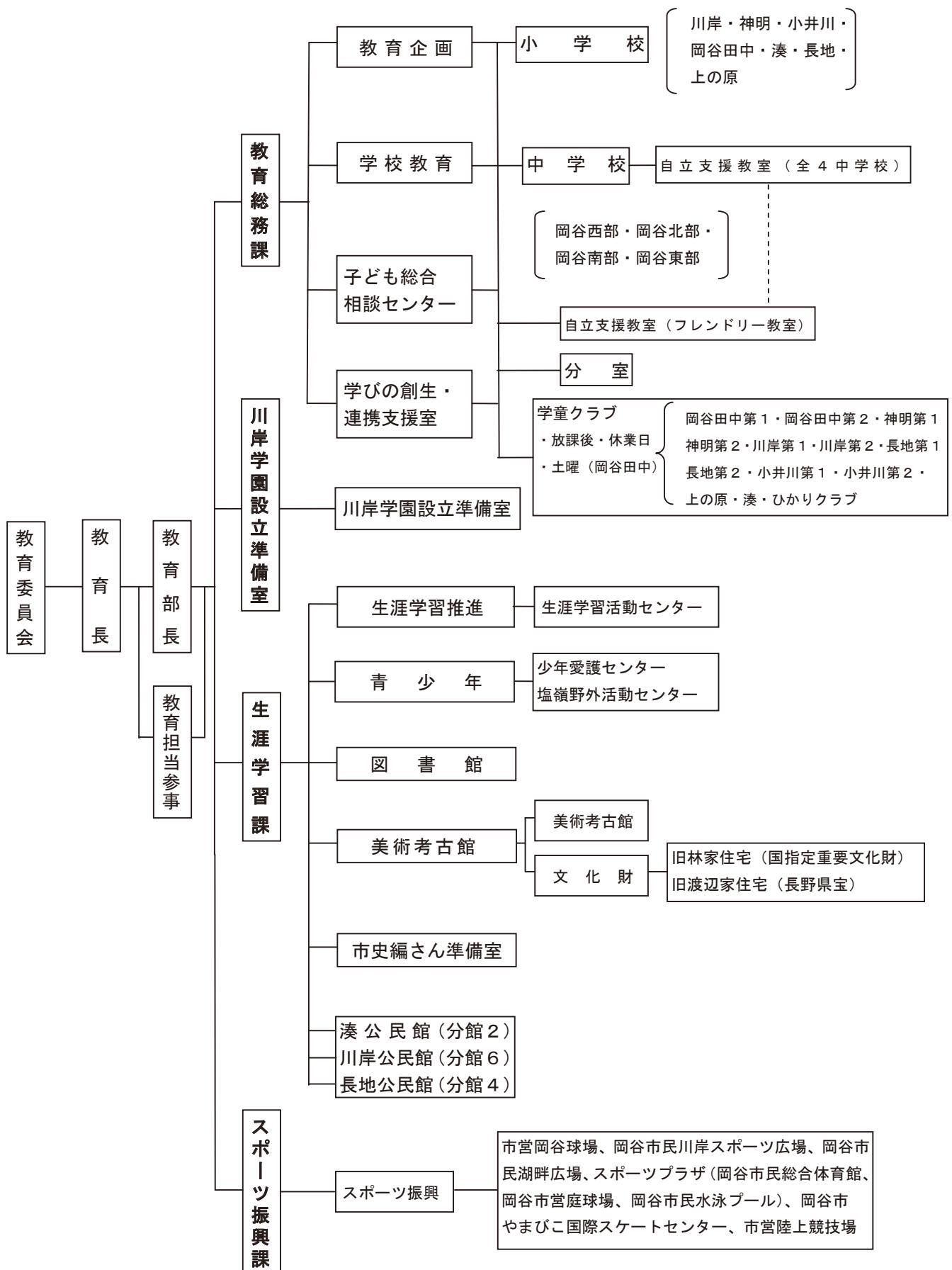
職 名	氏 名	就 任 年 月 日	任 期	備 考
教 育 長	宮 坂 享	令 5. 6. 1	令 7. 3. 31	新教育長就任 令 5. 6. 1
委 員	太 田 博 久	平 27. 3. 1	令 9. 2. 28	職務代理者就任 令 5. 3. 10
委 員	高 木 千 奈 美	平 27. 12. 1	令 5. 11. 30	
委 員	藤 森 一 俊	平 28. 10. 1	令 6. 9. 30	
委 員	小 平 陽 子	平 30. 3. 11	令 8. 3. 10	
委 員	林 慎 太 郎	令 5. 3. 10	令 9. 3. 9	

#### ③ 関係市議会議員

(令和5年5月17日現在)

職 名	氏 名	備 考
議 長	今 井 康 善	議長就任 令 5. 5. 16
副 議 長	小 松 壮	副議長就任 "
總 務 委 員 會	委 員 長	委員長就任 令 5. 5. 17
	副委員長	副委員長就任 "
	委 員	今 井 康 善
	"	花 岡 健 一 郎
	"	宇 野 香 二
	"	今 井 浩 一

#### (4) 教育委員會機構



## (5) 事務分掌

区分	事務分掌
教育企画	1. 教育委員会の会議 2. 教育委員会規則の制定及び改廃 3. 事務局、学校、その他の教育等機関の職員の人事 4. 教育委員会の施策の企画及び調整 5. 法第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価等 6. 教育財産の管理 7. 学校その他の教育等機関の設置、管理、廃止 8. 教育委員会所属職員の厚生及び福利 9. 教育に係る調査及び基幹統計 10. 公印の管理 11. 文書の收受及び保管 12. 教員住宅 13. 校長及び教職員の服務並びに研修 14. 育英事業 15. PTA等 16. 事務局、部及び課の庶務
学校教育	1. 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導 2. 学力向上 3. 教科書その他教材の取扱い 4. 通学区域の設定及び変更 5. 学齢児童、生徒の就学並びに入学及び転学 6. 児童生徒の保健、衛生及び安全 7. 学校給食 8. 学校施設の整備及び営繕 9. 学童クラブの管理運営 10. 放課後子どもの居場所づくり事業の運営 11. その他学校教育
子ども総合相談センター (分室・フレンドリー教室)	1. 教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括 2. 就学支援に関する総合調整 3. 学校・家庭・関係機関との連携 4. 学校諸問題に関する総合的な教育・相談支援 5. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会 6. 岡谷市いじめ問題対策調査委員会 7. 岡谷市子ども教育支援チーム 8. その他教育委員会が特に必要と認めること
学びの創生・連携支援室	1. 教育ICTを活用した豊かな学びの推進 2. 教職員の資質向上、授業改善及び児童生徒の学力向上の推進 3. 幼保小中の連携及び小中一貫教育の検討 4. 岡谷スタンダードカリキュラムを基盤としたふるさと学習の推進 5. 学校生活における指導上の問題その他学校教育に係る専門的事項の支援 6. その他教育委員会が特に必要と認めること
川岸学園設立準備室	1. 小中一貫教育を行う義務教育学校の整備 2. 川岸小学校の長寿命化大規模改修の検討 3. 幼保連携型認定子ども園の整備

	生涯学習推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生涯学習の総合計画及び推進</li> <li>2. 社会教育の振興</li> <li>3. 社会教育委員の会議及び研修</li> <li>4. 社会教育施設の整備及び監督管理</li> <li>5. 人権教育</li> <li>6. 生涯学習に係る学級、講座、講演会等の企画実施</li> <li>7. 社会教育団体及び学習グループの育成</li> <li>8. 学習ボランティアの育成</li> <li>9. 公民館等の連絡調整</li> <li>10. 生涯学習館の管理</li> <li>11. 所管する公印の管理</li> <li>12. 課の庶務</li> </ol>
生涯	青少年	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 青少年育成関係団体事務の総合調整</li> <li>2. 青少年育成関係団体及び地区組織等の育成</li> <li>3. 青少年及び指導者の研修</li> <li>4. 少年愛護センター</li> <li>5. 青少年教育並びに青少年の総合対策、企画及び調査</li> <li>6. 青少年問題協議会</li> <li>7. 二十歳を祝う会</li> <li>8. 塩嶺野外活動センターの管理運営</li> </ol>
学生	図書館	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図書館の管理</li> <li>2. 図書館活動の総合的企画及び調査</li> <li>3. 図書館資料の収集、整理及び保存</li> <li>4. 図書館資料の利用のための相談、閲覧及び貸出し</li> <li>5. 図書館関係機関、関係団体、読書団体との連携及び調整</li> <li>6. 公印の管理</li> </ol>
習課	美術考古館	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 美術考古館の管理</li> <li>2. 美術考古館活動の総合的企画及び調査等</li> <li>3. 美術品及び考古等に係る資料の収集、保管並びに調査、研究</li> <li>4. 美術考古館資料等の公開、利用及び活用並びに教育普及活動</li> <li>5. 公印の管理</li> </ol>
	文化財	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文化財の保護及び調査</li> <li>2. 旧林家住宅の管理</li> <li>3. 旧渡辺家住宅の管理</li> <li>4. その他文化財に関すること</li> </ol>
	市史編さん準備室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市史編さん室の設置について</li> <li>2. 市史編さんの基本方針及び基本計画の策定</li> <li>3. 関係資料の調査、収集及び保存</li> <li>4. その他市史編さんに必要な事項</li> </ol>
	湊公民館 川岸公民館 長地公民館	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学級、講座、講演会等の企画実施</li> <li>2. 社会教育団体及び学習グループの育成</li> <li>3. 分館活動の育成指導</li> <li>4. 公民館図書室</li> <li>5. 公民館の管理運営</li> <li>6. 公印の管理</li> <li>7. その他各公民館との連携</li> </ol>
スポーツ振興課	スポーツ振興	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツの振興及び指導</li> <li>2. 各種スポーツ大会の計画及び運営</li> <li>3. スポーツ関係団体</li> <li>4. 市営岡谷球場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民湖畔広場、スポーツプラザ（岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プール）、岡谷市やまびこ国際スケートセンター、市営陸上競技場</li> <li>5. 学校体育施設の開放</li> <li>6. 岡谷市やまびこアリーナの財産管理</li> <li>7. 課の庶務</li> </ol>

(6) 教育委員会事務局職員数

(令和5年4月1日現在)

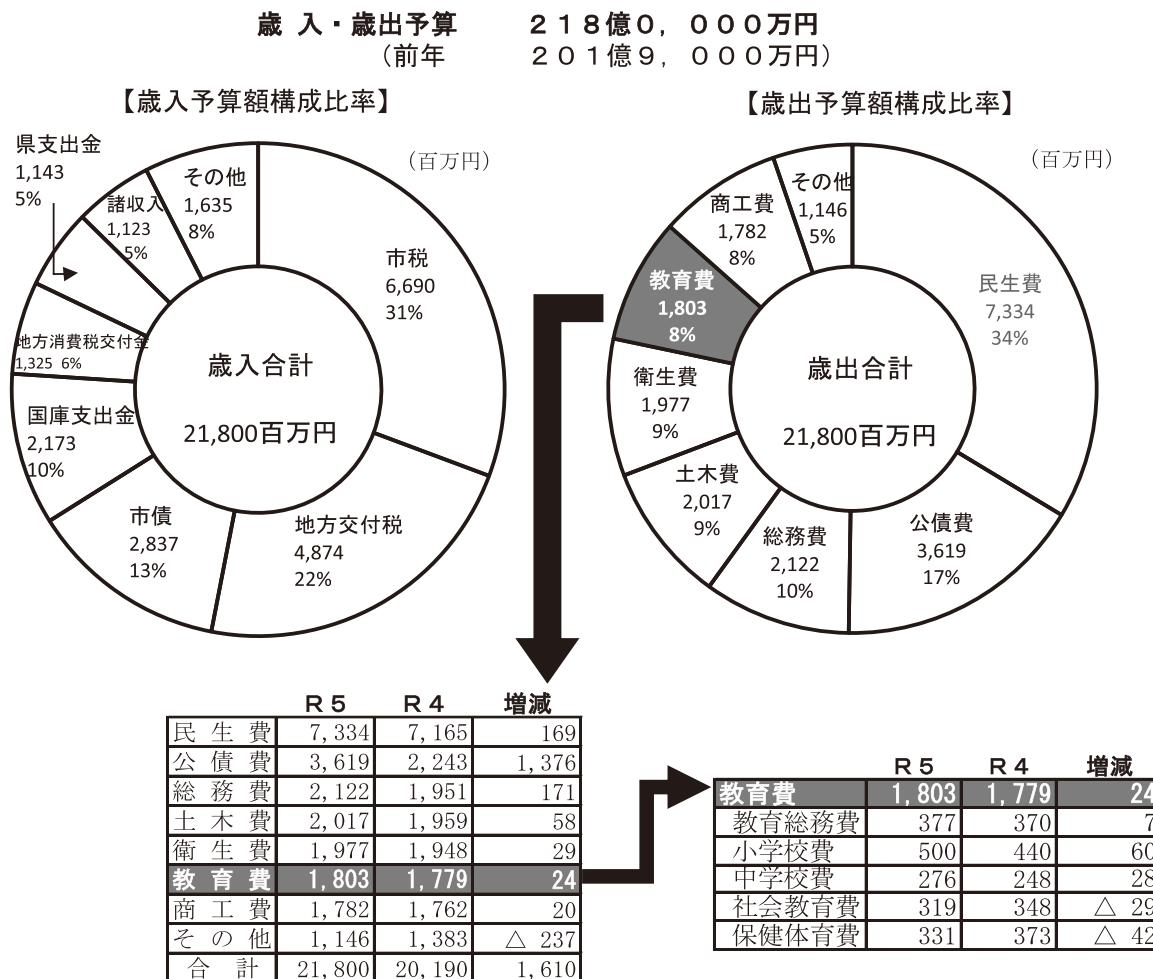
	教育長	部長	参事	課長	副参事	室長	統括主幹	主幹	主査	主任	主事	事務員	会計	合計
教育長	1													1
教育部長		1												1
教育担当参事			1											1
教育総務課				(1)										0
教育企画								1	1	1				3
学校教育						1		1		2	1	1	14(2)	20
子ども総合 相談センター								1		1			5	7
学びの創生・ 連携支援室						(1)							2	2
川岸学園設立準備室				(2)	(1)	(1)	1(1)	(3)				(2)	1	
生涯学習課				1										1
生涯学習推進								1	1		1		1	4
青少年								1	2					3
図書館							1		1		1		6	9
美術考古館				(1)										0
【美術考古館】								1					1	2
【文化財】								1	1					2
市史編さん準備室				1			(1)	(1)					1	2
【湊公民館】				(1)										0
【川岸公民館】				(1)					1					1
【長地公民館】				(1)					1					1
スポーツ振興課				1										1
スポーツ振興								1	1	1		1		4
合 計	1	1	1	2	1	0	2	8	11	4	3	1	30	66

( ) 内は兼務者で外数

「会計」は会計年度任用職員（専門職）

## 2. 教育委員会所管予算

### (1) 令和5年度岡谷市一般会計当初予算



### 「岡谷市教育大綱 教育理念」

☆自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり☆

#### 令和5年度 教育委員会関係主要事業予算

新規	第3期岡谷市教育大綱策定事業	マンパワー事業
新規	岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プラン後期計画策定事業	マンパワー事業
拡充	チーム岡谷による学びの創生・連携推進事業	13,749千円
拡充	外国語授業支援強化事業	34,742千円
繰越	学校施設バリアフリー化事業（岡谷田中小学校整備事業）	53,500千円
新規	笑顔で安心して学べる学校施設整備事業（小井川小学校整備事業）	7,000千円
繰越	安全で快適な学習環境整備事業（学校トイレ洋式化）	26,200千円
新規	部活動地域移行推進事業	4,172千円
新規	学校給食食材費高騰臨時対策事業	13,878千円
新規	川岸学園設立準備事業	1,000千円
新規	市史編さん準備事業	9,431千円
新規	美術考古館開館10周年記念事業	3,578千円
新規	旧渡辺家住宅保全事業	7,695千円
新規	第4次岡谷市子ども読書活動推進計画策定事業	79千円
新規	第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会推進事業	マンパワー事業
拡充	スポーツきっかけづくり事業	3,427千円
拡充	おかやキッズ運動大好き事業	2,192千円
拡充	おかやスケート振興事業	3,639千円
継続	通学路交通安全対策事業（土木費 計上）	15,000千円

(2) 令和5年度教育委員会費歳出項目別当初予算

(単位 千円)

項目	予算額	比率(%)	項目	予算額	比率(%)
1. 教育総務費	376,657	20.9%	(5) 生涯学習活動センター費 (6) 図書館費 (7) 文化財保護費 (8) 塩嶺野外活動センター費	48,703	
(1) 教育委員会費	4,959			69,420	
(2) 事務局費	272,621			32,935	
(3) 教員住宅費	2,381			5,483	
(4) 幼稚園費	96,696			5. 保健体育費	331,611 18.4%
2. 小学校費	499,533	27.7%		907	
(1) 学校管理費	477,082			314,590	
(2) 教育振興費	22,451			16,114	
3. 中学校費	276,354	15.3%			
(1) 学校管理費	251,396				
(2) 教育振興費	24,958				
4. 社会教育費	318,791	17.7%			
(1) 社会教育総務費	6,352				
(2) 放課後子ども健全育成費	70,876				
(3) 公民館費	38,647				
(4) 美術考古館費	46,375			1,802,946	100.0%

### (3) 教育費の年度別推移

(単位 千円)

年度	当初予算			最終予算		
	一般会計(A)	教育費(B)	比率(B/A)	一般会計(C)	教育費(D)	比率(D/C)
平成元	14,389,000	2,168,603	15.07%	16,366,635	2,203,498	13.46%
平成2	14,453,000	1,898,352	13.13%	17,119,360	1,932,889	11.29%
平成3	16,061,000	2,140,124	13.32%	18,090,724	2,165,157	11.97%
平成4	17,855,000	2,347,761	13.15%	19,745,317	2,364,645	11.98%
平成5	18,576,000	1,906,554	10.26%	21,800,770	1,911,279	8.77%
平成6	20,577,000	1,953,454	9.49%	23,250,264	2,212,756	9.52%
平成7	19,055,000	2,013,162	10.57%	21,180,773	2,090,644	9.87%
平成8	19,195,000	2,296,892	11.97%	23,087,050	2,355,758	10.20%
平成9	24,289,000	2,721,028	11.20%	24,918,813	2,457,550	9.86%
平成10	21,712,000	2,745,935	12.65%	25,381,263	2,853,430	11.24%
平成11	21,534,000	2,183,794	10.14%	24,418,762	2,285,557	9.36%
平成12	21,690,000	2,240,401	10.33%	23,446,224	2,337,230	9.97%
平成13	22,005,000	2,052,788	9.33%	25,089,840	2,128,769	8.48%
平成14	20,820,000	1,983,194	9.53%	25,714,524	2,044,159	7.95%
平成15	23,005,000	2,068,565	8.99%	24,480,365	2,155,178	8.80%
平成16	23,315,000	2,138,048	9.17%	23,944,826	2,279,376	9.52%
平成17	20,935,000	2,167,384	10.35%	22,638,527	2,276,964	10.06%
平成18	19,023,000	1,745,782	9.18%	20,826,798	1,744,625	8.38%
平成19	18,518,000	1,708,261	9.22%	19,489,332	1,715,757	8.80%
平成20	18,655,000	1,614,361	8.65%	20,995,488	1,725,447	8.22%
平成21	18,726,000	1,422,281	7.60%	21,194,892	1,913,727	9.03%
平成22	19,600,000	1,402,813	7.16%	21,615,156	2,098,213	9.71%
平成23	20,240,000	1,641,597	8.11%	22,122,348	2,561,311	11.58%
平成24	20,233,000	1,471,587	7.27%	21,170,830	2,309,364	10.91%
平成25	21,090,000	1,409,364	6.68%	25,480,473	1,948,413	7.65%
平成26	21,352,000	1,487,939	6.97%	24,556,693	1,639,907	6.68%
平成27	20,903,000	2,305,990	11.03%	22,474,002	2,327,267	10.36%
平成28	21,148,000	2,484,659	11.75%	22,054,696	2,502,235	11.35%
平成29	19,710,000	1,511,000	7.67%	20,711,587	1,556,031	7.51%
平成30	19,288,000	1,418,693	7.36%	20,665,713	2,054,916	9.94%
令和元	19,620,000	1,556,306	7.93%	21,826,424	2,479,030	11.36%
令和2	20,230,000	1,588,903	7.85%	29,384,924	2,939,885	10.00%
令和3	19,810,000	1,570,081	7.93%	26,345,811	2,387,250	9.06%
令和4	20,190,000	1,779,375	8.81%	24,855,982	1,975,968	7.95%
令和5	21,800,000	1,802,946	8.27%			

### 3. 教育総務課

#### (1) 令和5年度 学校教育基本方針

##### ■ 『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げた教育理念のもと、少子高齢化、グローバル化が進む現代社会の中で、一人ひとりの個性、人格、人権を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を推進し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

更に、知識を基盤としながら、思考力・判断力・表現力などの知識を活かす能力を高め、自ら主体的に学び、たくましく生き抜くことのできる力を養います。

##### ■ 「学校教育 4つの重点」

###### 1 未来を切り拓く確かな学力の定着

- 基礎基本の学力の定着と思考力・判断力・表現力及び学びに向かう力の醸成
- グローバル社会に対応する人材の育成
- ICTを活用した学習の研究・実践

###### 2 地域に根ざしたふるさと学習の推進

- 岡谷スタンダードカリキュラムの推進
- 地域に開かれた学校づくりの推進
- 家庭教育の支援

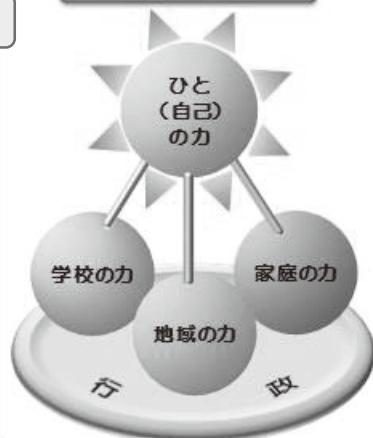
###### 3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

- 人権教育・道徳教育の充実
- 特別支援教育の充実
- 困難な悩みを抱える児童生徒への支援
- 高等学校以上の教育との連携
- 体力向上と健康教育の推進

###### 4 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

- 安全・安心の教育 検討
- 学校施設・設備の充実（学校施設の長寿命化計画の推進）

『岡谷のひと』づくり



学力保障

成長保障

##### ◎ふるさと岡谷のひと・もの・こと・こころと紡ぐ 令和5年度 岡谷市教育委員会 学校教育の重点項目

- ・アフターコロナを見据えた安全・安心な学校経営への支援
- ・異年齢の子どもたちをつなぐ、川岸学園構想の推進
- ・ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・岡谷スタンダードカリキュラムによるふるさと学習の実践
- ・インクルーシブ教育を基盤とした特別支援教育の充実
- ・安全快適な学習環境整備  
(岡谷田中小エレベータ等整備、北部中トイレ洋式化改修)

(2) 市内小中学校等

① 市立小中学校

学校名	所在地	電話番号	創立年月日	校長氏名
川岸小学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番2号	TEL 22-2663 FAX 22-2653	明7.1.	小口貴一郎
神明小学校	〒394-0004 岡谷市神明町一丁目9番40号	TEL 22-2243 FAX 22-2159	昭42.4.1	小林真紀
小井川小学校	〒394-0023 岡谷市東銀座一丁目1番4号	TEL 22-2234 FAX 22-2641	明6.4.	涌井雅幸
岡谷田中小学校	〒394-0031 岡谷市田中町三丁目5番17号	TEL 22-2425 FAX 22-2851	平28.4.1	五味隆
湊小学校	〒394-0044 岡谷市湊三丁目6番1号	TEL 22-2728 FAX 22-2529	明6.4.	藤森東
長地小学校	〒394-0086 岡谷市長地源一丁目1番3号	TEL 27-8792 FAX 27-8598	明5.11	櫻井洋
上の原小学校	〒394-0089 岡谷市長地出早二丁目6番1号	TEL 28-1187 FAX 28-1742	昭48.4.1	塩澤真千子
岡谷西部中学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番1号	TEL 22-3461 FAX 22-3409	昭22.4.1	松澤和憲
岡谷北部中学校	〒394-0002 岡谷市赤羽二丁目1番24号	TEL 22-3203 FAX 22-3197	昭22.4.1	牛山高彦
岡谷南部中学校	〒394-0044 岡谷市湊二丁目1番8号	TEL 22-3243 FAX 22-3241	昭22.4.1	守屋守
岡谷東部中学校	〒394-0083 岡谷市長地柴宮一丁目9番13号	TEL 27-8644 FAX 27-8595	昭22.4.8	山田典史

## ② 學校教職員數

(令和5年5月1日現在)

区分 学校名		県費										市費										合計			
		校	教	教諭		養護	養助	栄養	講師	事務	スクールサポートスタッフ	栄養	小計	事務	スクールサポートスタッフ	栄養	給食	図書	業務	特別支援教育支援員	心の教室相談員	自立支援教室自立支援員	部活動指導員		
				男	女																				
小学校	川岸小	1	1	7	7	1			4	1	1	1	24	1			4	1	1	3			10	34	
	(兼務者)			(1)		(1)		(1)					(3)											(3)	
	神明小	1	1	7	10	1			4	1	1	1	27	1			4	1	1	3			10	37	
	(兼務者)			(1)									(1)											(1)	
	小井川小	1	1	7	7	1		1	6	1	1		26			1	5	1	1	2			10	36	
	(兼務者)			(1)									(1)											(1)	
	岡谷田中小	1	1	5	11	1		1	2	1	1		24	1		1	5	1	1	4			13	37	
	(兼務者)			(1)				(1)					(2)											(2)	
	湊小	1	1	2	6	1		1	1		1		14		1	3	1	1	1				7	21	
	(兼務者)																								
中学校	長地小	1	1	11	10	1	1	8	1	1	1	36	1			5	1	1	6				14	50	
	(兼務者)																								
	上の原小	1	1	5	5	1		1	1	1	1	17			3	1	1	2					7	24	
	(兼務者)			(1)				(1)				(2)												(2)	
	小計	7	7	44	56	7	1	2	26	7	6	5	168	4	1	2	29	7	7	21	0	0	0	71	239
	岡谷西部中	1	1	5	11	1		1	2	1			23		1	1	3	1	1	3	1	1	2	14	37
	(兼務者)			(1)				(1)					(2)											(2)	
	岡谷北部中	1	1	12	7	1		3	1	1	1	28	1			5	1	1	3	1	1	3	16	44	
	(兼務者)							(1)				(1)												(1)	
	岡谷南部中	1	1	8	8	1		5	1		1	26		1	3	1	1	2	1	1	3	13	39		
	(兼務者)			(1)								(1)												(1)	
	岡谷東部中	1	1	14	12	1		1	3	1	1	35	1			5	1	1	5	1	1		15	50	
	(兼務者)																								
	小計	4	4	39	38	4	0	2	13	4	2	2	112	2	2	1	16	4	4	13	4	4	8	58	170
合計		11	11	83	94	11	1	4	39	11	8	7	280	6	3	3	45	11	11	34	4	4	8	129	409

※( )は兼務者で上段の本務者には含まれない

### ③ 児童・生徒数及び学級数

#### ・小学校

(令和5年5月1日現在)

		川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	1学級当たり児童数
1年	学級数	1	2	2	2	1	3	1	12	25.3
	男	18	31	19	31	5	44	13	161	
	女	14	21	18	26	11	40	12	142	
	計	32	52	37	57	16	84	25	303	
2年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	24.3
	男	22	26	19	25	6	39	18	155	
	女	27	23	23	27	7	44	10	161	
	計	49	49	42	52	13	83	28	316	
3年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	23.2
	男	22	21	22	23	11	39	10	148	
	女	26	24	17	32	6	38	10	153	
	計	48	45	39	55	17	77	20	301	
4年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	25.2
	男	33	24	22	28	6	34	20	167	
	女	24	20	33	26	11	37	9	160	
	計	57	44	55	54	17	71	29	327	
5年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	25.8
	男	27	31	21	32	5	38	14	168	
	女	27	26	26	30	1	43	15	168	
	計	54	57	47	62	6	81	29	336	
6年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	24.8
	男	17	23	28	26	10	35	15	154	
	女	26	32	25	22	5	44	14	168	
	計	43	55	53	48	15	79	29	322	
特別支援	学級数	3	3	3	3	1	5	3	21	5.6
	男	10	14	11	15	4	29	12	95	
	女	6	4	3	1	1	4	3	22	
	計	16	18	14	16	5	33	15	117	
合計	学級数	14	15	15	15	7	23	9	98	20.6
	男	149	170	142	180	47	258	102	1,048	
	女	150	150	145	164	42	250	73	974	
	計	299	320	287	344	89	508	175	2,022	

#### ・中学校

		西部	北部	南部	東部	計	1学級当たり生徒数
1年	学級数	2	3	3	4	12	28.4
	男	30	28	34	61	153	
	女	27	46	42	73	188	
	計	57	74	76	134	341	
2年	学級数	2	4	3	4	13	27.2
	男	20	45	34	66	165	
	女	23	61	39	66	189	
	計	43	106	73	132	354	
3年	学級数	2	3	2	5	12	32.0
	男	27	50	35	79	191	
	女	27	52	33	81	193	
	計	54	102	68	160	384	
特別支援	学級数	4	3	3	4	14	5.4
	男	16	12	8	18	54	
	女	4	7	4	7	22	
	計	20	19	12	25	76	
合計	学級数	10	13	11	17	51	22.6
	男	93	135	111	224	563	
	女	81	166	118	227	592	
	計	174	301	229	451	1,155	

#### ・小中学校合計

男	1,611	女	1,566	計	3,177
---	-------	---	-------	---	-------

#### ④ 保育園等・幼稚園・認定こども園

##### ・保育園等

<保育園等一覧表>

保育園名	所在地	定員	電話番号
小口保育園	岡谷市銀座一丁目4-18	110人	22-2489
今井保育園	岡谷市長地6189番地1	90	22-2935
あやめ保育園	岡谷市湖畔一丁目10-3	120	22-2680
川岸保育園	岡谷市川岸中二丁目7-14	90	22-3829
夏明保育園	岡谷市川岸西一丁目18-16	60	22-3861
成田保育園	岡谷市成田町二丁目10-6	90	22-2464
みなと保育園	岡谷市湊三丁目6-50	90	22-3566
長地保育園	岡谷市長地鎮一丁目7-29	150	27-4194
若草保育園(休園中)	岡谷市加茂町三丁目8-28	90	23-4811 (子ども課)
西堀保育園	岡谷市堀ノ内一丁目6-4	120	22-7670
神明保育園	岡谷市神明町四丁目4-11	120	22-4555
横川保育園	岡谷市長地出早三丁目4-16	90	28-1180
つるみね保育園	岡谷市川岸上三丁目14-13	90	22-2911
聖ヨゼフ保育園岡谷(私立)	岡谷市山下町一丁目1-37	80	24-1477
ひまわり保育園(私立)	岡谷市長地権現町二丁目8-30	60	27-2816
信学会東堀こども園(私立)	岡谷市長地御所二丁目1563番地	150	27-9366
きらり岡谷市民病院園(私立)	岡谷市本町四丁目11-33撫子寮1階	19	23-6656
計		1,619	

※信学会東堀こども園は1号認定定員を含む。

<保育園職員数>

(令和5年4月1日現在)

区分 保育園名	園長	保育士	補助 保育士	長時間保育 補助員	栄養士	補助 調理員	補助 相談員	合計
小口	1	6	10	4	0	4	0	25
今井	1	5	5	3	0	3	0	17
あやめ	1	8	16	5	1	4	1	36
川岸	1	6	9	3	1	3	1	24
夏明	1	2	1	0	0	1	0	5
成田	1	4	9	3	0	3	0	20
みなと	1	4	7	1	1	3	1	18
長地	1	5	10	5	1	5	0	27
西堀	1	6	10	4	1	4	0	26
神明	1	6	11	4	1	5	0	28
横川	1	5	10	2	0	4	0	22
つるみね	1	2	2	0	0	1	0	6
育休、子ども課付、総務課付	0	11	1	0	0	0	0	12
合計	12	70	101	34	6	40	3	266

<保育園等入所児童数>

(令和5年5月1日現在)

保育園名	定員	当月初日 入所人員	前月初日 入所人員	当月初日入所人員の年齢別内訳					
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
小口	110	68 (1)	67 (1)		7	11	13	19 (1)	18
今井	90	43 (1)	43 (1)	1	4	5	12 (1)	9	12
あやめ	120	124	124	3	16	16	29	32	28
川岸	90	94	94		10	10	26	27	21
夏明	60	7	7				1	2	4
成田	90	51 (1)	51 (1)		8	7 (1)	12	10	14
みなと	90	36	36		3	4	13	10	6
長地	150	98	97	1	11	14	20	26	26
(若草)	90								
西堀	120	96	95		11	11	24	24	26
神明	120	111	109	2	12	12	24	34	27
横川	90	77	76	2	6	10	19	19	21
つるみね	90	9	9					4	5
公立合計	1,310	814 (3)	808 (3)	9	88	100 (1)	193 (1)	216 (1)	208
(立正)									
東堀保育	120	110	118	3	9	19	23	24	32
聖ヨゼフ	80	67 (2)	64 (1)	3	6 (1)	14	17 (1)	15	12
ひまわり	60	64	64	1	8	12	14	13	16
きらり岡谷	19	12	10	2	6	4			
私立2,3号合計	279	253 (2)	256 (1)	9	29 (1)	49	54 (1)	52	60
東堀教育	30	9	10				5	2	2
聖母	70	65 (13)	65 (13)				24 (6)	24 (5)	17 (2)
ヤコブ	60	59 (19)	57 (19)			2	18 (6)	16 (6)	23 (7)
瑞穂	105	10 (6)	10 (6)				3 (2)	5 (4)	2
1号合計	265	143 (38)	142 (38)			2	50 (14)	47 (15)	44 (9)
私立合計	544	396 (40)	398 (39)	9	29 (1)	51	104 (15)	99 (15)	104 (9)
総 計	1,854	1,210 (43)	1,206 (42)	18	117 (1)	151 (1)	297 (16)	315 (16)	312 (9)

※ ( ) 内は、うち市外からの広域入所児童

・幼稚園

<私立幼稚園>

(令和5年5月1日現在)

園 名	設置別	学級数	園児数			定員	教職員数	園長名	所在地 (電話番号)
			男	女	計				
ヤコブ幼稚園	私立	3	24	35	59	60	20	有浦明子	岡谷市字上ノ原262番地2 (22-2618) (山崎学園 24-0134)
聖母幼稚園	私立	3	35	30	65	70	13	有浦明子	岡谷市大栄町二丁目3番26号 (22-5090) (山崎学園 24-0134)
瑞穂幼稚園	私立	3	3	7	10	105	8	佐藤梓奈	岡谷市中央町一丁目8番13号 (22-3806)

※市外からの入所児童含む

・認定こども園

<私立認定こども園>

(令和5年4月1日現在)

園 名	設置別	学級数	園児数			定員	教職員数	園長名	所在地 (電話番号)
			男	女	計				
信学会東堀こども園	私立	9	73	57	130	150	30	酒井重明	岡谷市長地御所二丁目1563番地 (27-9366)

## ⑤ 学級編制「30人規模学級（35人基準）編制」導入経過

### 【学級編制の基準】

公立小中学校の学級編制は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」により、1クラス40人（小学校第1学年のみ35人）と規定され、国基準により編制した学級数に応じて担任（県費教職員）が配置され、義務教育費国庫負担制度に基づく教員の人事費補助が措置される。

令和2年度、文部科学省は一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を可能とする指導体制と安全・安全な教育環境を整備するため、公立小学校の学級編制基準を段階的に引き下げ、小学校全学年を35人編制とする法改正を行い、令和3年度から令和7年度にかけ1学年ずつ、35人編制に移行している。

### 【長野県による信州少人数教育推進事業】

長野県では、国に先駆け平成14年度から「信州少人数教育推進事業」として、県独自に公立小中学校の30人規模学級（35人基準）編制を推進している。学級平均児童数が35人を超える学年への学級数の増加に伴う教員配置のほか、小学校1～2年生対象に30人を超える学級に教員を配置する学習習慣形成支援、習熟度に差が生じやすい教科で30人以下の学習集団を編成できる教員を配置する少人数学習集団編成など、一人ひとりに応じたきめ細かな指導ができるよう、県費負担による教員加配制度を設けている。

岡谷市では県方針に基づき、平成14年度から段階的に30人規模学級（35人基準）を導入し、現在は市内全小中学校において導入している。

### 【30人規模学級（35人基準）導入経過】

年度	導入の経過
平成14年度	川岸小、神明小、長地小1～3年実施（全額県費負担）
平成16年度	川岸小、神明小、小井川小、長地小1～3年実施（全額県費負担） 長地小4年は県費・市費負担により実施
平成18年度	川岸小、神明小、小井川小、田中小、長地小、上の原小1～4年実施（全額県費負担） 川岸小、神明小、長地小5～6年は県費・市費負担にて実施
平成19年度	川岸小、神明小、小井川小、田中小、長地小、上の原小1～4年実施（全額県費負担） 川岸小、神明小、小井川小、田中小、長地小、上の原小5～6年は県費・市費負担にて実施
平成21年度	小学校全校実施（全額県費負担）
平成23年度	小学校全校実施、南部中1年実施（全額県費負担）
平成24年度	小学校全校、北部中、南部中、東部中1～2年実施（全額県費負担）
平成25年度	小学校全校、北部中、南部中、東部中1～3年実施（全額県費負担）
平成26年度	小中学校全校実施（全額県費負担）

## ⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み（令和5年5月1日現在）

\* 各学年の「児童生徒数」には、特別支援は含まない。

\* 次年度以降の特別支援学級の学級数は、令和5年度を参考とした推測数。

川岸小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	32	1	44	2	36	2	42	2	28	1	36	2	27	1
2学年	49	2	32	1	44	2	36	2	42	2	28	1	36	2
3学年	48	2	49	2	32	1	44	2	36	2	42	2	28	1
4学年	57	2	48	2	49	2	32	1	44	2	36	2	42	2
5学年	54	2	57	2	48	2	49	2	32	1	44	2	36	2
6学年	43	2	54	2	57	2	48	2	49	2	32	1	44	2
特別支援学級	16	3	16	3	16	3	15	3	15	3	14	3	14	3
計	299	14	300	14	282	14	266	14	246	13	232	13	227	13

神明小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	52	2	53	2	48	2	37	2	45	2	36	2	39	2
2学年	49	2	52	2	53	2	48	2	37	2	45	2	36	2
3学年	45	2	49	2	52	2	53	2	48	2	37	2	45	2
4学年	44	2	45	2	49	2	52	2	53	2	48	2	37	2
5学年	57	2	44	2	45	2	49	2	52	2	53	2	48	2
6学年	55	2	57	2	44	2	45	2	49	2	52	2	53	2
特別支援学級	18	3	17	3	17	3	17	3	17	3	16	3	16	3
計	320	15	317	15	308	15	301	15	301	15	287	15	274	15

小井川小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	37	2	39	2	39	2	37	2	39	2	37	2	33	1
2学年	42	2	37	2	39	2	39	2	37	2	39	2	37	2
3学年	39	2	42	2	37	2	39	2	39	2	37	2	39	2
4学年	55	2	39	2	42	2	37	2	39	2	39	2	37	2
5学年	47	2	55	2	39	2	42	2	37	2	39	2	39	2
6学年	53	2	47	2	55	2	39	2	42	2	37	2	39	2
特別支援学級	14	3	14	3	14	3	13	3	13	3	12	3	12	3
計	287	15	273	15	265	15	246	15	246	15	240	15	236	14

岡谷田中小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	57	2	42	2	52	2	44	2	39	2	45	2	36	2
2学年	52	2	57	2	42	2	52	2	44	2	39	2	45	2
3学年	55	2	52	2	57	2	42	2	52	2	44	2	39	2
4学年	54	2	55	2	52	2	57	2	42	2	52	2	44	2
5学年	62	2	54	2	55	2	52	2	57	2	42	2	52	2
6学年	48	2	62	2	54	2	55	2	52	2	57	2	42	2
特別支援学級	16	3	16	3	16	3	15	3	15	3	14	3	14	3
計	344	15	338	15	328	15	317	15	301	15	293	15	272	15

湊小学校（特別支援学級：1学級（情障））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	16	1	5	1	12	1	13	1	10	1	9	1	10	1
2学年	13	1	16	1	5	1	12	1	13	1	10	1	9	1
3学年	17	1	13	1	16	1	5	1	12	1	13	1	10	1
4学年	17	1	17	1	13	1	16	1	5	1	12	1	13	1
5学年	6	1	17	1	17	1	13	1	16	1	5	1	12	1
6学年	15	1	6	1	17	1	17	1	13	1	16	1	5	1
特別支援学級	5	1	5	1	5	1	4	1	4	1	4	1	4	1
計	89	7	79	7	85	7	80	7	73	7	69	7	63	7

長地小学校（特別支援学級：5学級（知障1、情障4））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	84	3	86	3	83	3	67	2	86	3	74	3	73	3
2学年	83	3	84	3	86	3	83	3	67	2	86	3	74	3
3学年	77	3	83	3	84	3	86	3	83	3	67	2	86	3
4学年	71	3	77	3	83	3	84	3	86	3	83	3	67	2
5学年	81	3	71	3	77	3	83	3	84	3	86	3	83	3
6学年	79	3	81	3	71	3	77	3	83	3	84	3	86	3
特別支援学級	33	5	33	5	33	5	32	5	32	5	31	5	31	5
計	508	23	515	23	517	23	512	22	521	22	511	22	500	22

上の原小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
1学年	25	1	21	1	21	1	29	1	13	1	23	1	26	1
2学年	28	1	25	1	21	1	21	1	29	1	13	1	23	1
3学年	20	1	28	1	25	1	21	1	21	1	29	1	13	1
4学年	29	1	20	1	28	1	25	1	21	1	21	1	29	1
5学年	29	1	29	1	20	1	28	1	25	1	21	1	21	1
6学年	29	1	29	1	29	1	20	1	28	1	25	1	21	1
特別支援学級	15	3	15	3	15	3	14	2	14	2	14	2	13	2
計	175	9	167	9	159	9	158	8	151	8	146	8	146	8

7小学校合計

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	児童数 (人)	学級数												
川岸小	299	14	300	14	282	14	266	14	246	13	232	13	227	13
神明小	320	15	317	15	308	15	301	15	301	15	287	15	274	15
小井川小	287	15	273	15	265	15	246	15	246	15	240	15	236	14
岡谷田中小	344	15	338	15	328	15	317	15	301	15	293	15	272	15
湊小	89	7	79	7	85	7	80	7	73	7	69	7	63	7
長地小	508	23	515	23	517	23	512	22	521	22	511	22	500	22
上の原小	175	9	167	9	159	9	158	8	151	8	146	8	146	8
計	2,022	98	1,989	98	1,944	98	1,880	96	1,839	95	1,778	95	1,718	94

## 岡谷西部中学校（特別支援学級：4学級（知障2、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	57	2	41	2	52	2	55	2	46	2	47	2	30	1
2学年	43	2	57	2	41	2	52	2	55	2	46	2	47	2
3学年	54	2	43	2	57	2	41	2	52	2	55	2	46	2
特別支援学級	20	4	20	4	20	4	19	4	19	4	18	4	18	4
計	174	10	161	10	170	10	167	10	172	10	166	10	141	9

## 岡谷北部中学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	74	3	87	3	86	3	77	3	67	2	76	3	75	3
2学年	106	4	74	3	87	3	86	3	77	3	67	2	76	3
3学年	102	3	106	4	74	3	87	3	86	3	77	3	67	2
特別支援学級	19	3	19	3	19	3	18	3	18	3	18	3	18	3
計	301	13	286	13	266	12	268	12	248	11	238	11	236	11

## 岡谷南部中学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	76	3	58	2	63	2	66	2	67	2	60	2	68	2
2学年	73	3	76	3	58	2	63	2	66	2	67	2	60	2
3学年	68	2	73	3	76	3	58	2	63	2	66	2	67	2
特別支援学級	12	3	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2	12	2
計	229	11	219	10	209	9	199	8	208	8	205	8	207	8

## 岡谷東部中学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障3））

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数 (人)	学級数												
1学年	134	4	119	4	118	4	112	4	104	3	116	4	113	4
2学年	132	4	134	4	119	4	118	4	112	4	104	3	116	4
3学年	160	5	132	4	134	4	119	4	118	4	112	4	104	3
特別支援学級	25	4	25	4	25	4	24	4	24	4	23	4	23	4
計	451	17	410	16	396	16	373	16	358	15	355	15	356	15

## 4中学校合計

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数 (人)	学級数												
岡谷西部中	174	10	161	10	170	10	167	10	172	10	166	10	141	9
岡谷北部中	301	13	286	13	266	12	268	12	248	11	238	11	236	11
岡谷南部中	229	11	219	10	209	9	199	8	208	8	205	8	207	8
岡谷東部中	451	17	410	16	396	16	373	16	358	15	355	15	356	15
計	1,155	51	1,076	49	1,041	47	1,007	46	986	44	964	44	940	43

	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
	生徒数 (人)	学級数												
小学校計	2,022	98	1,989	98	1,944	98	1,880	96	1,839	95	1,778	95	1,718	94
中学校計	1,155	51	1,076	49	1,041	47	1,007	46	986	44	964	44	940	43
合計	3,177	149	3,065	147	2,985	145	2,887	142	2,825	139	2,742	139	2,658	137

## ⑦ 人口及び児童生徒数の年比較

(毎年5月1日現在)

年度	人口(A)	増減指數 平成元年を 100とした場合	小学校		中学校		小中学校	
			児童数(B)	増減 指数	生徒数(C)	増減 指数	児童生徒数 合計(D)	人口対比 (D/A)
元	人 60,282	% 100.0	人 4,637	% 100.0	人 2,967	% 100.0	人 7,604	% 12.6
2	60,359	100.1	4,351	93.8	2,768	93.3	7,119	11.8
3	59,599	98.9	4,141	89.3	2,696	90.9	6,837	11.5
4	59,456	98.6	3,996	86.2	2,476	83.5	6,472	10.9
5	58,944	97.8	3,841	82.8	2,344	79.0	6,185	10.5
6	58,705	97.4	3,738	80.6	2,088	70.4	5,826	9.9
7	58,367	96.8	3,561	76.8	2,006	67.6	5,567	9.5
8	57,725	95.8	3,458	74.6	1,878	63.3	5,336	9.2
9	57,220	94.9	3,303	71.2	1,884	63.5	5,187	9.1
10	57,070	94.7	3,172	68.4	1,812	61.1	4,984	8.7
11	56,960	94.5	3,144	67.8	1,808	60.9	4,952	8.7
12	56,837	94.3	3,087	66.6	1,701	57.3	4,788	8.4
13	56,290	93.4	3,082	66.5	1,635	55.1	4,717	8.4
14	55,932	92.8	3,084	66.5	1,557	52.5	4,641	8.3
15	55,613	92.3	3,049	65.8	1,529	51.5	4,578	8.2
16	55,424	91.9	3,096	66.8	1,508	50.8	4,604	8.3
17	54,986	91.2	3,097	66.8	1,516	51.1	4,613	8.4
18	54,380	90.2	3,105	67.0	1,486	50.1	4,591	8.4
19	53,877	89.4	3,112	67.1	1,507	50.8	4,619	8.6
20	53,616	88.9	3,093	66.7	1,495	50.4	4,588	8.6
21	53,271	88.4	3,120	67.3	1,521	51.3	4,641	8.7
22	52,772	87.5	2,992	64.5	1,528	51.5	4,520	8.6
23	52,556	87.2	2,898	62.5	1,555	52.4	4,453	8.5
24	52,041	86.3	2,856	61.6	1,524	51.4	4,380	8.4
25	51,376	85.2	2,833	61.1	1,505	50.7	4,338	8.4
26	50,845	84.3	2,760	59.5	1,441	48.6	4,201	8.3
27	50,341	83.5	2,671	57.6	1,464	49.3	4,135	8.2
28	49,824	82.7	2,682	57.8	1,350	45.5	4,032	8.1
29	49,413	82.0	2,609	56.3	1,308	44.1	3,917	7.9
30	48,826	81.0	2,490	53.7	1,223	41.2	3,713	7.6
元	48,440	80.4	2,351	50.7	1,287	43.4	3,638	7.5
2	47,947	79.5	2,278	49.1	1,278	43.1	3,556	7.4
3	47,322	78.5	2,149	46.3	1,279	43.1	3,428	7.2
4	46,712	77.5	2,077	44.8	1,198	40.4	3,275	7.0
5	46,241	76.7	2,022	43.6	1,155	38.9	3,177	6.9

⑧ 中学校卒業者の進路状況

(令和5年3月卒業者)

学 校 名	男 女 別	進学者(就職進学者を含む)										就 職 者	左 記 以 外 者	卒 業 者 總 数			
		高等学校			高等 学校 別科	高等 專門 学校	盲聾養護 学 高等 部		専修学校		各種 学校	訓 練 施 設 等					
		全 日 制	定 時 制	通 信 制			本 科	別 科	高 等 課 程	一 般 課 程							
岡谷西部	男	32	3	1				1							37		
	女	23		3											26		
	計	55	3	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	63		
岡谷北部	男	41		4			1								46		
	女	51		2				1						3	57		
	計	92	0	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	103		
岡谷南部	男	47		1			1								49		
	女	29	1	2											32		
	計	76	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	81		
岡谷東部	男	100	1	3				1						1	106		
	女	48	1	7											56		
	計	148	2	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	162		
計	男	220	4	9	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	238		
	女	151	2	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	171		
	計	371	6	23	0	2	3	0	0	0	0	0	0	4	409		

## ⑨ 小中学校通学区域

学 校 名		通 学 区 域
小 学 校	川 岸	川岸地区全部
	神 明	今井 1. 4~12. 16 町内、今井 3 町内国道下、間下全部、 小井川 12. 13. 15. 16. 17 国道下、18. 22. 23. 24. 26. 27. 28 町内、 今井神明台、今井塩嶺、樋沢
	小 井 川	小井川 1~11. 14. 19. 20. 21. 25. 29 町内 小口全部、西堀全部
	岡 谷 田 中	下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、新屋敷全部
	湊	湊地区全部
	長 地	中屋全部、中村 1~6. 8. 9 町内、東堀全部
中 学 校	上 の 原	横川全部、中村 7 町内、今井 2. 13. 14. 15 町内、今井 3 町内国道上 小井川 17 町内国道上
	西 部	川岸地区全部
	北 部	今井全部、間下全部、小口全部、小井川 3. 4. 10~29 町内、樋沢
	南 部	湊地区全部、下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、 新屋敷全部
	東 部	長地地区全部、西堀全部、小井川 1. 2. 5~9 町内

## ⑩ グランドデザイン

小 学 校	
・川 岸 小 学 校	..... P26
・神 明 小 学 校	..... P27
・小 井 川 小 学 校	..... P28
・岡 谷 田 中 小 学 校	..... P29
・湊 小 学 校	..... P30
・長 地 小 学 校	..... P31
・上 の 原 小 学 校	..... P32
中 学 校	
・岡 谷 西 部 中 学 校	..... P33
・岡 谷 北 部 中 学 校	..... P34
・岡 谷 南 部 中 学 校	..... P35
・岡 谷 東 部 中 学 校	..... P36

# 令和5年度 岡谷市立川岸小学校 グランドデザイン

## 学校教育目標 たくましい子ども

全校研究テーマ 「『主体的な学び』をつなぐ 教師・子どもたち」

### か：体と心をきたえ

明るく元気な子  
「遊びひたろう  
体いっぱい」

- 友と思い切り遊ぼう（時には先生も）
- 日々の運動の継続
  - ・徒歩での登下校
  - ・「げんワク」の充実(マラソン・縄跳び)
- 児童会との連携
- 命・健康を守る
  - ・心と体、命の学習
  - ・食育と感謝の心

### わ：私もあなたも

大切にする子  
「心を開こう挨拶で」

- 校内・地域へさわかやかに広げよう
- 支え支えられる自分の自覚(感謝)
- 児童会との連携
  - ・姉妹学級交流
  - ・なかよし集会
- 歌声を響かせよう
- 児童理解の積み重ね
  - ・個別面談、アセス・Q U

### き：気づき、考え、

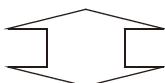
意欲的に学ぶ子  
「つながり合おう  
よく聴いて」

- 心を傾けて聴こう
- 子どもの問い合わせから始める自分事の追究
- 考え方の真意を問い合わせ合う学習
- 笑顔にじいろタイムの充実(学級文化の創造・暮らし作り)
- 基礎学力の定着
  - ・読書タイム・ステップタイム

### し：しっかり働き、

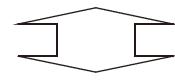
責任を果たす子  
「やり抜こう  
心を込めて」

- 役割の自覚と支え合い(責任と協力・感謝)
- 自ら気づき動く落ち葉・雪かきなど
- 「清掃無言」心も磨く清掃
- 栽培・飼育活動動植物との暮らし
- キャリア教育の推進・創造的な児童会活動



## お互いの人権を大切にした学校・学級

- 「さん」をつけてお互いを尊重
- 個性を認め合い、からかいやいじめ・暴力暴言を許さず、子どもと共に考え育む思いやりの心
- 安心してチャレンジ、失敗できる文化づくり
- 豊かな対話環境創造と情報モラル学習の積み重ね
- 「スクールオアシス(誰にも心の居場所を)」  
(全職員で子どもに寄り添いサポート)



## 川岸学園構想

- 保小の交流
  - ・交流活動の創造
- 小中一貫教育
  - ・9年間カリキュラム
  - ・交流活動の創造
  - ・教職員の交流
  - ・乗り入れ授業
  - ・互いの活動応援
- 児童生徒理解
  - ・つつじヶ丘学園
- 市教委との連携
  - ・地域・保護者との合意形成
- できることから試行開始する

## 子どもも大人も共に伸びる学校

### 信頼される教職員チーム

- 子どもの安心・安全を何事にも最優先に(いじめ・危険の芽を摘む、報連相・研修の充実)
- 人権感覚をお互いに磨き続ける(非違行為の根絶)
- 協働でものごとに当たる(働き方改革の推進)
- 教職員としての専門性を磨く(研修・学び合い)
- お便りで情報発信・情報共有(学級便りなど)
- 川岸の地域に根ざす(参加・交流)

岡谷子育て憲章 「明るく元気で健やかな子ども」「命を大切にし感謝の心と思いやりある子ども」「自ら求めねばり強くやり抜く子ども」「行動に責任をもちひとりだちのできる子ども」「力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子ども」

# 令和5年度　岡谷市立神明小学校　グランドデザイン

おかや子育て憲章　～子どもたちの心の自立を支えるために 市民総参加による 子育てのまちづくり～  
○明るく元気で健やかな子どもに育てます。  
○行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子どもに育てます。  
○命を大切にし、感謝の心と想いやりのある子どもの育てます。  
○力を合わせ人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

岡谷市教育大綱　学校教育のスローガン「生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かないとづくり」

## 〔学校教育目標〕 つむぐ～「絆」「学び」「夢」～

### 〔めざす学校像〕

#### 子どもが主人公の学校

子どもが主人公…主体的に、協創的に、創造的に学んでいくことができる学校

### 〔地域に根ざした特徴ある 学校像〕

コミュニケーション  
「ワークプラン」を核心に



- くスマイルサポート>
  - 「神明っ子えがお見守りたい」
  - くスタディーサポート>
    - 教科学習、つむぎの時間、クラブの講師
  - 日常的な学習支援
  - くライブリーサポート>
    - 読み聞かせボランティア
    - くクリーンサポート>
      - 環境整備
    - く神明っ子はばたきラボ>
      - 放課後子どもたちの居場所づくり事業

### 〔本年度の重点目標・具体的方策〕



#### 1 絆をつむぐ子ども 【神明小3つの上手】

- ① 聴き上手 相手の話を最後までしっかりと聴きます。
- ② 伝え上手 自分の言葉で、思ったこと、考えたことを伝えます。
- ③ あいさつ上手 「ありがとうございます」「おはよう」「さようなら」あいさつを大事にします。

#### 2 学びをつむぐ子ども 【子どもと共に創る授業】

- △学力向上の柱 柱1：くらしを創り、学びをつむぐ夢のある学校…子どもが自分ごとの学習問題を解決していく実践力
- 柱2：子どもが主人公の学び…子どもが自分ごとの家庭学習・読書ができる実践力
- 柱3：一人ひとりが主体的に家庭学習・読書ができる実践力

- △研修：学び続ける教師・岡谷市全体会講師：松木健一先生
- 本校中心講師：奈須正裕先生(学ぶ年4回の研修会を中心とした授業研究)
- ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進 (岡谷スタンダードカリキュラム)
  - 本物に学ぶつむぎの時間の充実
  - 地域の産業から学ぶキャリア教育の推進

#### 3 夢をつむぐ子ども 〔笑顔で安心して学べる教育環境〕

- △どの子にも責任のつもりでかかわる支援
  - チーム支援・チームでの対応 “チーム神明小”
  - 職務を自覚し、心をひとつにする非違行為防止研修
  - 子どもたちの丸ごとを受け止める生徒指導
- △危機管理意識の日常化
  - 「はじめ根絶子ども会議」と連動した年間の取組
  - 「ワークロードの環境整備
  - 「神明っ子はばたきラボ」の運営
  - 放課後子どもたちの居場所づくり事業
- △インクルーシブ教育システムの構築整備
  - 子どもたちに応じた支援体制の構築 (特に4学級を核に)
  - 幼保小中の連続的な支援
  - 児童との個別懇談
  - ビジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニングの取組
  - ユニバーサルデザインの充実

# 2023 岡谷市立小井川小学校 グランドデザイン

## 【岡谷子育て憲章】



わたくしちは

- ・明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- ・命を大切にし感謝の心とおもいやりのある子どもを育てます。
- ・自ら求め粘り強く取り組む子どもに育てます。
- ・行動に責任を持ち独り立ちのできる子どもに育てます。
- ・力を合わせ人のために尽くし郷土を愛する子どもに育てます。

## 【魅力ある岡谷の学校づくり】

- 岡谷スタンダードカリキュラムの推進
- ・地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- ・岡谷市読書5カ年計画
- ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実
- ・確かな学力保障と成長保障を図る授業の充実
- ・「自立と共生」につながる教育活動の充実

## 本校の児童のよさ

- ◆優しく素直な子ども
- ◆何事も一生懸命取り組む子ども
- ◆明るい挨拶ができる子ども
- ◆やるべきことは誠実に取り組める子ども

## 本校の児童への期待

- ◆自ら課題を持ち、粘り強く追究してほしい
- ◆相手を意識し自分の思いや考えを伝えてほしい

## これからを生きるために必要な力

- ◆予測困難な時代を自ら切り拓いていく力
- ◆改定された学習指導要領を踏まえて培う3つの学力
- ◆多様性を認め合い、知性と清らかな人間性を併せ持つ人間力

## 小井川小学校を取り巻く環境

- ◆文化や伝統が息づく歴史ある岡谷市の中心地にある学校
- ◆学校支援ボランティアや地域の方の献身的な支え  
えがおまもり隊 ラムラム広場  
読み聞かせサークルどんぐり  
放課後子ども教室おいかわっこ
- ◆協力的で理解ある保護者の姿勢

## 幼保小連携

幼少期を踏  
まえた  
を目指す子ども  
像の共有

## 小井川小 学校目標 『自ら求めてうごく子ども』

- 1 子どもたちが がんばれる学校
- 2 子どもたちが 満足感や達成感を得られる学校
- 3 学ぶことが楽しいと思える学校

## 小中連携

将来像を見  
据えた  
を目指す子ども  
像の共有

教室環境のUD化  
人的環境のUD化  
授業のUD化

## 小井川小のあいことば かかわる力・かんがえる力・かわる力

ICT 機器利活用

## 本年度の指導の重点 ～学力向上のために～

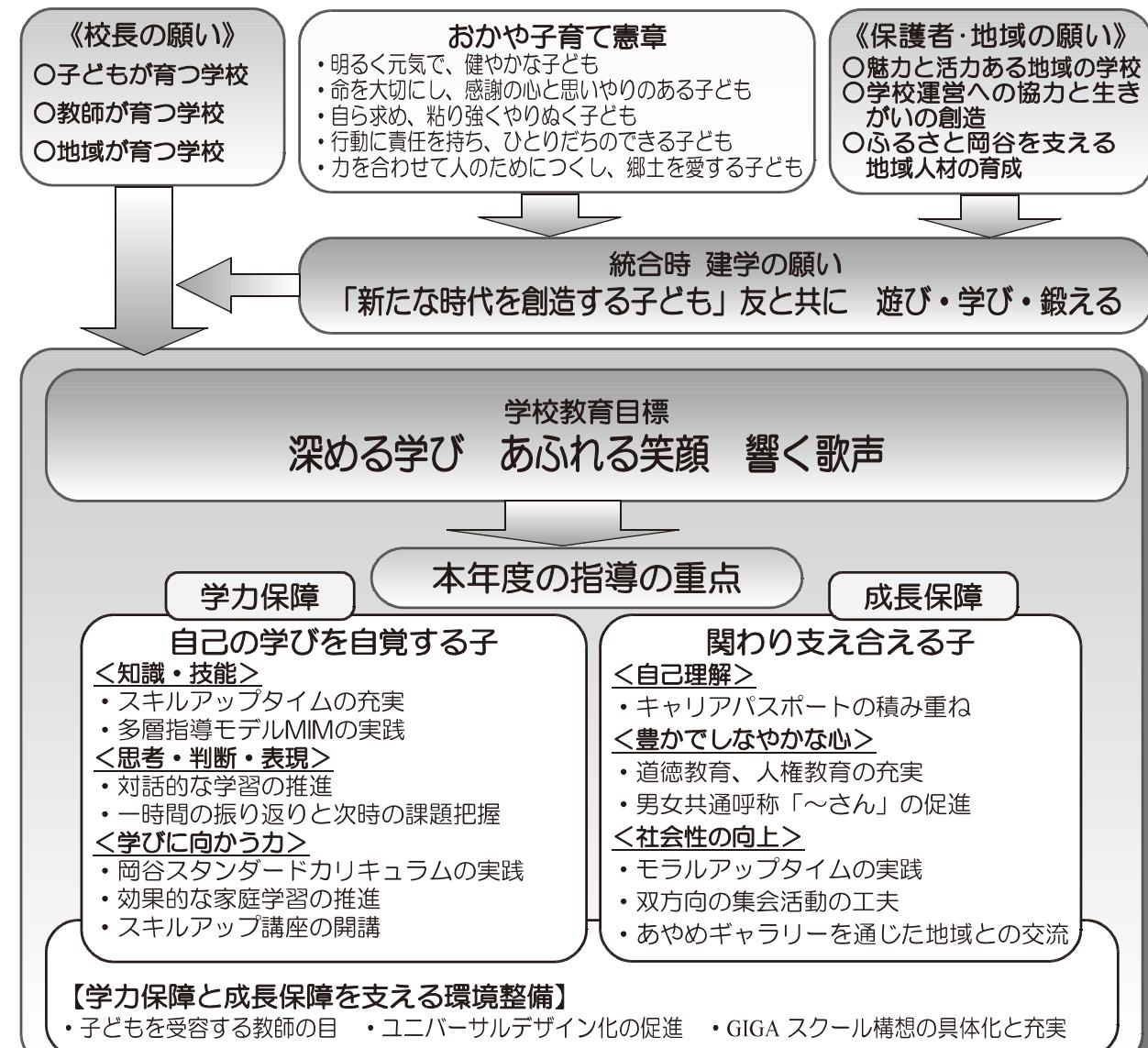
- ◆個別最適な学びの推進
  - ・自分に合った学び方を選んでいける学びの推進
  - ・ICT機器の利活用や本来の力を發揮できる合理的な配慮
- ◆協働的な学びの推進
  - ・自分の持ち味を活かし、他者と関わりながら新たな価値を生み出し、追究を深めていける学びの推進
- ◆自ら学ぶ学習習慣の形成
  - ・課される学習から、自ら学びをつづけていく学習習慣の形成
  - ・高学年からの家庭学習充実
- ◆「多層指導モデルMIM」の実施
  - ・「読み」を学習の根幹と捉えた指導方法を活用した効果的な指導の推進と客観的な児童の評価

## 評価

- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 学校自己評価「授業が分かる」ABの割合 80%          | 教師による毎日の授業の振り返り |
| 学校自己評価「友達と話したり一緒に考えたり…」ABの割合 80% |                 |
| CRTテスト平均以上                       |                 |
| 学校自己評価「自分のいいところが増えた」ABの割合 80%    |                 |
| 学校自己評価「友達と仲良く生活している」ABの割合 80%    |                 |
| 学校自己評価「元気に遊んだり運動したり…」ABの割合 80%   |                 |
| 学校自己評価「学校が楽しい」ABの割合 80%          |                 |
| 学校評議員の評価 児童の姿のよさ小井川小らしさの認知       |                 |

## 自己肯定感の高揚

# 令和5年度 岡谷市立岡谷田中小学校 グランドデザイン



## 子どもと共に育つ教師

### 確かな授業力の獲得

- ・公開授業研究会の開催
  - ・同僚性に基づいた研究会の充実
  - ・豊かで確かな教材研究力の獲得
- チーム支援体制の強化
- ・一部教科担任制（3学年以上）
  - ・学年合同の取組の推進  
(課題発見・解決学習、学年集会、学年行事)
- 学級だよりの充実
- ・開かれた学級経営と情報の発信
  - ・エピソードから子どもを捉える教師の確かな目

## 保護者・地域との協働

### 安心と安全の見守り

- ・登下校の見守り
  - ・学校評議員、民生児童委員、各区育成会等との情報共有と連携
- 学校支援体制の整備
- ・学習支援ボランティアの拡充
  - ・PTAとコミュニティスクールの連携
  - ・生涯学習の場としての学校づくり
- 学校評価
- ・学校だよりの発信
  - ・学校経営に対する評価と改善への提言
  - ・学校運営への参画

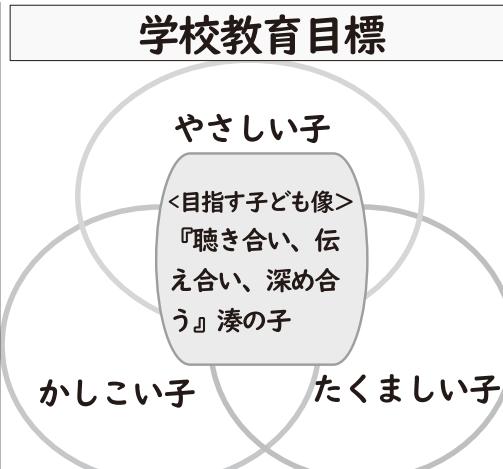
地域に根ざし、地域と共に伸びる学校

# 令和5年度 湊小学校グランドデザイン 岡谷市立湊小学校

**岡谷市子育て憲章**  
(岡谷市のめざす子ども像)

- ・明るく、元気で健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
- ・行動に責任をもち、ひとりだけのできる子ども
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども

**岡谷市教育大綱**  
【自立し、共生し創造性溢れる『岡谷のひと』づくり】



**子どもの様子**

- ・友だちの良さを認められる子が多い。
- ・自分の役割に責任をもって取り組む。
- ・学年を超えた温かな交流をする。
- ・人間関係を広げられず、関わりに消極的な子が多い。
- ・自己表現が苦手な子が多い。

**地域全体でめざす子どもの姿**

- ・湊地域のよさを知り、将来にわたって地域のために貢献しようとする子ども
- ・将来「平成18年の豪雨災害を忘れない」「『春四之柱』を30年後も湊地域で曳いている」大人

## 目指す学校像 ④んな ④かよし ④もだち 湊小学校

温かな学級を基盤とした自己有用感を育む授業づくりによる『聴き合い、伝え合い、深め合う』湊の子の育成

### 重点目標

やさしい子 自己有用感を育む子 ・思いを聴き合う	かしこい子 対話により学びを深める子 ・思いを深め合う	たくましい子 自己肯定感を育む子 ・思いを伝え合う
--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

### 具体的な方策

<p>○心をつなぐあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級指導、児童会企画、おはよう日</li> </ul> <p>○思いやりを育む異学年交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り活動、児童会企画、湖の子集会</li> <li>・連学年交流、わかつけ学級との交流、聞く力の育成</li> </ul> <p>○自分の居場所がある</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をもつ、係や委員会等での役割</li> </ul> <p>○様々な立場を認め合う教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小中との交流や連携、道徳教育、思い合い月間、福祉授業</li> </ul> <p>* 教師の力量を高める研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育についての理解を深める研修</li> </ul>	<p>○主体的に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせあり、対話が生まれる子ども主体の授業づくり、授業のユニバーサルデザイン化、わからないと言える学級</li> </ul> <p>○探究的に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと学習（岡谷スタンダードカリキュラム活用）、話す・聞く・考える活用する力の育成</li> </ul> <p>○自律して学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題をもった自主学習の推進</li> <li>・タブレットの活用、チャレンジタイム</li> </ul> <p>* 教師の力量を高める研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善に向けての研修</li> <li>・ICT研修、交換授業、相互授業参観</li> </ul>	<p>○人間関係力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温かな学級づくり、SST（ソーシャルスキルトレーニング）の活用、ネットモラル、伝える力の育成</li> </ul> <p>○心身の健康維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくり（全校集会、マラソン等）</li> <li>・外遊びの励行（学級、異学年交流等）</li> <li>・体力アップ、なかよしアンケート</li> </ul> <p>○豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動、リコーダー演奏</li> </ul> <p>* 教師の力量を高める研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解（QUアセス）、SST、自己肯定感を高める言葉かけ、学級づくりについて研修</li> </ul>
--	---	---

目指す教師像

- ・子どもへのまなざしは温かく深く確かにし、子どもの良さを認め、伸ばす。
- ・安心して自分らしく学ぶことができる温かな学級づくりを基盤として、子どもと共に創る授業を実践する。研修・授業改善
- ・良さや違いを生かしてチームとして力を合わせ、教職員としての自覚をもって子どもと向き合う。

児童理解

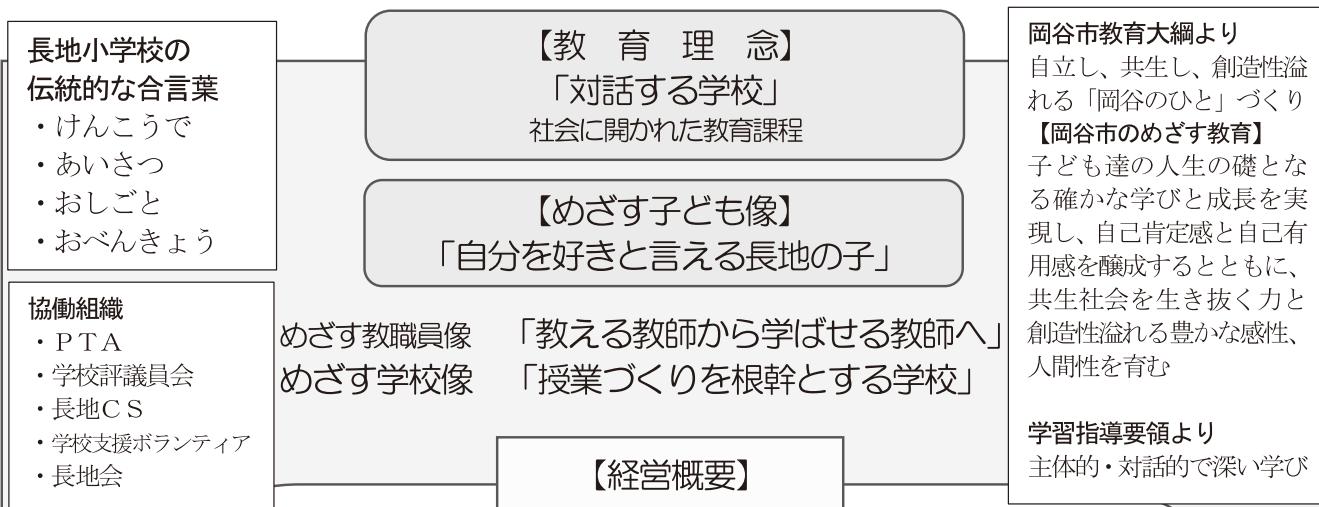
信頼・使命感

家庭との連携
・あいさつの日常化、おはよう日における安全指導
・家族内の対話UP、自己肯定感を高める言葉かけ
「ありがとう たすかったよ うれしいな」
・学校と連携した家庭学習（学習の手引きの活用）
・早寝、早起き、朝ごはん推進、日々の健康管理
・家庭読書の推進

地域との連携
・あいさつの地域拡大（おはよう日）
・おはよう日における安全指導
・ボランティア、地域の人材、関係団体
・地域での異学年交流の推進（あそぼう日）
・大人との対話、子ども主体の地域行事
・体力UPプログラム

湊コミュニティースクール
地域で学ぶ良さを実感し、あいさつを通して地域を元気にする
④んな④かよし④もだち 湊小学校

# R5年度 岡谷市立長地小学校グランドデザイン



## 学校づくりのねらい

「対話する学校」を合言葉にする学校づくりと、問い合わせをもって物事の本質を探求する対話的な授業実践を通して「協働する力」を高め、「自分を好きと言える長地の子」を育成する。

※「協働する力」とは、「【聴く】【問う】を基盤とする対話を通して、複数人で知恵を出し合い、問題を解決する力」

## 【学校教育目標】 問い合わせをもって学び合う長地の子

## 【教育課題】

「聴く」「問う」を大切にした対話的（協働的）な授業づくり

- 手づくり単元の充実（生活科・総合的な学習の時間の充実）
- ユニバーサルデザインの充実（特別支援教育の重視）
- 「岡谷スタンダードカリキュラム」の活用

正解のない課題から最適解を創造し、表現し共有するこれからの社会に生きる子どもたちには、他者と協働しながら複雑な現象に対し情報収集・分析・判断をし、実行した結果を社会に問うていく能力が必要となる。（スタンダードカリキュラム p.2 より）

## 令和5年度 全校研究テーマ

「自分が好きと言える長地の子」の育成（自己有用感を高めていくために）

～『聴く・問う』を大切にした対話的な学びと、ICTによる協働的な学びに焦点をあてて～

## 研究推進3つのチャレンジ

- 部会研究の推進（チームで対話的・協働的な授業研究や、主事の単元訪問活用によるスキルアップ）
- 小グループ（4～5人）研究の推進（お互いの授業を定期的に見合って、授業力アップ）
- 教職員個々のスキルアップ研究の推進（学期ごと自己課題の成果と課題を確認して日々の授業の改善）



学力向上に向けて  
教科書+1 読書活動の充実